

開講年度	令和 8 年度	学期	通年			必修・選択	必修
科目名	職業指導 I					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 30 週実施)					単位数	4単位
授業内容	ホームルームならびに、公務員試験に関わる様々な知識習得						
到達目標	人間的な成長ができる						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、 公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	なし						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	素養試験	
2	公務員試験の説明（担任）	
3	4/25公務員試験の説明（OBOG）	
4	公務員試験研究	
5	模擬試験（1）	
6	模擬試験（2）	
7	税務説明会	
8	模擬試験（3）	
9	スーツ着こなし講座	
10	公務員試験申し込み（国家）	
11	模擬試験（4）	
12	模擬試験（5）	
13	ビズトレ①	
14	模擬試験（6）	
15	ビズトレ②	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	25 %	学習成果評価（定期試験） 75 %

開講年度	令和 8 年度	学期	通年			必修・選択		必修	
科目名	職業指導 I					担当者名		長谷川 靖洋	
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画	実施内容・所感
16	公務員試験過去問演習	
17	公務員試験過去問演習	
18	公務員試験過去問演習	
19	公務員試験過去問演習	
20	公務員試験過去問演習	
21	公務員試験を終えて	
22	体育祭準備	
23	体育祭準備	
24	社会研修準備	
25	フィールドワーク（官庁見学）	
26	フィールドワーク（官庁見学）	
27	自分に足りないものを探す	
28	自分の住んでいる地域を深く知る	
29	1年間のまとめ	
30	期末試験	

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	判断推理Ⅰ(A)					担当者名		岩崎・瀬木
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態		講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数		4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。							
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。							
担当教員 実務経験	なし							
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理 (いいずな書店)							

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス 1 命題論理	
2	1 命題論理	
3	2 暗号・規則性	
4	3 試合と勝敗に関する問題	
5	3 試合と勝敗に関する問題	
6	4 うそと本当の問題	
7	4 うそと本当の問題	
8	5 対応関係	
9	5 対応関係	
10	6 順位順序 (1)	
11	6 順位順序 (1)	
12	8 順位順序 (2)	
13	9 比較	
14	10 手順	
15	12 位置	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	判断推理 I (A)					担当者名		岩崎・瀬木
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16	1 2 位置							
17	1 3 方位							
18	1 4 道順							
19	I 章の振り返り							
20	1 平面図形の分割と構成							
21	2 平面図形の個数							
22	3 立体図形の分割と構成							
23	4 立体の個数							
24	5 立方体の展開図 6 立方体以外の展開図							
25	7 折り紙							
26	8 投影図・見取図							
27	9 サイコロ							
28	1 0 軌跡							
29	1 1 断面図・回転体 試験対策演習							
30	期末試験							

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	判断推理Ⅰ(B)					担当者名		岩崎・瀬木
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態		講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数		4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。							
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。							
担当教員 実務経験	なし							
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理 (いいずな書店)							

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス 1 命題論理	
2	1 命題論理	
3	2 暗号・規則性	
4	3 試合と勝敗に関する問題	
5	3 試合と勝敗に関する問題	
6	4 うそと本当の問題	
7	4 うそと本当の問題	
8	5 対応関係	
9	5 対応関係	
10	6 順位順序 (1)	
11	6 順位順序 (1)	
12	8 順位順序 (2)	
13	9 比較	
14	10 手順	
15	12 位置	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	判断推理 I (B)					担当者名		岩崎・瀬木
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16	1 2 位置							
17	1 3 方位							
18	1 4 道順							
19	I 章の振り返り							
20	1 平面図形の分割と構成							
21	2 平面図形の個数							
22	3 立体図形の分割と構成							
23	4 立体の個数							
24	5 立方体の展開図 6 立方体以外の展開図							
25	7 折り紙							
26	8 投影図・見取図							
27	9 サイコロ							
28	1 0 軌跡							
29	1 1 断面図・回転体 試験対策演習							
30	期末試験							

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)	
科目名	数的推理Ⅰ (A)					担当者名		山田祐嗣・瀬木翼	
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース		
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態		講義	
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数		4単位	
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。								
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。								
担当教員 実務経験	なし								
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)								

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス I－1 虫食い算	
2	I－1 虫食い算	
3	I－2 魔方陣	
4	I－3 倍数と約数	
5	I－3 倍数と約数	
6	I－4 整数問題	
7	I－4 整数問題	
8	I－5 数の性質	
9	I－5 数の性質	
10	I－6 方程式・不等式	
11	I－6 方程式・不等式	
12	I－6 方程式・不等式	
13	I－7 集合	
14	I－7 集合	
15	I－8 割合・百分率	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)
			80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	数的推理Ⅰ (A)					担当者名		山田祐嗣・瀬木翼
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16	Ⅰ－8 割合・百分率							
17	Ⅰ－9 濃度							
18	Ⅰ－9 濃度							
19	Ⅰ－10 対比							
20	Ⅰ－11 利益							
21	Ⅰ－11 利益 Ⅰ－12 速さ							
22	Ⅰ－12 速さ							
23	Ⅰ－12 速さ							
24	Ⅰ－13 場合の数							
25	Ⅰ－13 場合の数							
26	Ⅰ－14 確率							
27	Ⅰ－14 確率							
28	Ⅱ－1 三平方の定理 Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積							
29	Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積 Ⅱ－3 立体の体積と表面積							
30	期末試験							

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択(習熟度)
科目名	数的推理Ⅰ (B)					担当者名	山田祐嗣・瀬木翼
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。						
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス I－1 虫食い算	
2	I－1 虫食い算	
3	I－2 魔方陣	
4	I－3 倍数と約数	
5	I－3 倍数と約数	
6	I－4 整数問題	
7	I－4 整数問題	
8	I－5 数の性質	
9	I－5 数の性質	
10	I－6 方程式・不等式	
11	I－6 方程式・不等式	
12	I－6 方程式・不等式	
13	I－7 集合	
14	I－7 集合	
15	I－8 割合・百分率	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	数的推理Ⅰ (B)					担当者名		山田祐嗣・瀬木翼
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16	Ⅰ－8 割合・百分率							
17	Ⅰ－9 濃度							
18	Ⅰ－9 濃度							
19	Ⅰ－10 対比							
20	Ⅰ－11 利益							
21	Ⅰ－11 利益 Ⅰ－12 速さ							
22	Ⅰ－12 速さ							
23	Ⅰ－12 速さ							
24	Ⅰ－13 場合の数							
25	Ⅰ－13 場合の数							
26	Ⅰ－14 確率							
27	Ⅰ－14 確率							
28	Ⅱ－1 三平方の定理 Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積							
29	Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積 Ⅱ－3 立体の体積と表面積							
30	期末試験							

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択(習熟度)
科目名	自然科学Ⅰ (A)					担当者名	深井 淳二
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学(理科)の生物・化学分野について講義し、基礎知識を固め公務員試験に対応できるようにする。						
到達目標	公務員試験の簡単な問題に答えられるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	高卒程度公務員試験対策 自然科学 テキスト&問題集(ウィネット)						

授業 回数	授業計画		実施内容・所感
1	生物	ガイダンス 1 細胞の構造と働き	
2	生物	2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	生物	2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	生物	3 恒常性と調節(1)	
5	生物	3 恒常性と調節(2)	
6	生物	3 恒常性と調節(3)	
7	生物	4 刺激と反応(1)	
8	生物	4 刺激と反応(2)	
9	生物	5 遺伝(1)	
10	生物	5 遺伝(2)	
11	生物	6 植物の反応・調節(1)	
12	生物	6 植物の反応・調節(2)	
13	生物	7 生殖・発生・進化	
14	化学	生物のまとめ	
15	化学	1 物質の構成・化学結合(1)	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価(平常点)	20 %	学習成果評価(定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	自然科学 I (A)					担当者名		深井 淳二
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画			実施内容・所感
16	化学	1	物質の構成・化学結合(2)	
17	化学	2	周期表(1)	
18	化学	2	周期表(2)	
19	化学	3	物質の状態	
20	化学	4	化学反応(1)	
21	化学	4	化学反応(2)	
22	化学	5	酸・塩基(1)	
23	化学	5	酸・塩基(2)	
24	化学	6	酸化・還元(1)	
25	化学	6	酸化・還元(2)	
26	化学	7	金属の性質	
27	化学	8	気体の製法と性質(1)	
28	化学	8	気体の製法と性質(2)	
29	化学	化学のまとめ		
30	前期末試験			

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択(習熟度)
科目名	自然科学 I (B)					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学(理科)の生物・化学分野について講義し、基礎知識を固め公務員試験に対応できるようにする。						
到達目標	公務員試験の簡単な問題に答えられるようになる。						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	高卒程度公務員試験対策 自然科学 テキスト&問題集(ウィネット)						

授業 回数	授業計画		実施内容・所感
1	生物	ガイダンス 1 細胞の構造と働き	
2	生物	2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	生物	2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	生物	3 恒常性と調節(1)	
5	生物	3 恒常性と調節(2)	
6	生物	3 恒常性と調節(3)	
7	生物	4 刺激と反応(1)	
8	生物	4 刺激と反応(2)	
9	生物	5 遺伝(1)	
10	生物	5 遺伝(2)	
11	生物	6 植物の反応・調節(1)	
12	生物	6 植物の反応・調節(2)	
13	生物	7 生殖・発生・進化	
14	化学	生物のまとめ	
15	化学	1 物質の構成・化学結合(1)	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価(平常点)	20 %	学習成果評価(定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	自然科学 I (B)					担当者名		長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画			実施内容・所感
16	化学	1	物質の構成・化学結合(2)	
17	化学	2	周期表(1)	
18	化学	2	周期表(2)	
19	化学	3	物質の状態	
20	化学	4	化学反応(1)	
21	化学	4	化学反応(2)	
22	化学	5	酸・塩基(1)	
23	化学	5	酸・塩基(2)	
24	化学	6	酸化・還元(1)	
25	化学	6	酸化・還元(2)	
26	化学	7	金属の性質	
27	化学	8	気体の製法と性質(1)	
28	化学	8	気体の製法と性質(2)	
29	化学	化学のまとめ		
30	前期末試験			

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	人文科学 I					担当者名	伊藤・瀬木
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。						
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	"絶対"合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	日12 近世2 (江戸時代1) 日13 近世3 (江戸時代2)	
2	世24 中国史① 世25 中国史②	
3	日14 近世4 (江戸時代3) 日15 近世5 (江戸時代4)	
4	世24 中国史③ 世25 中国史④	
5	日16 近世6 (江戸時代5) 日17 近世7 (江戸時代6)	
6	世26 中国史⑤ 世27 中国史⑥	
7	日18 近代1 (明治1) 日19 近代2 (明治2)	
8	世28 中国史⑦ 世29 中国史⑧	
9	日20 近代3 (明治3) 日21 近代4 (明治4)	
10	世30 中国史⑨ 世31 中国史⑩	
11	日22 近代5 (大正) 日23 近代6 (昭和1)	
12	世32 中国史⑪ 世33 中国史⑫	
13	日24 近代7 (昭和2) 日25 現代1 (戦後1)	
14	世界史 中国史過去問演習	
15	日26 現代2 (戦後2) 復習演習	
定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価 (平常点) 20 %	学習成果評価 (定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択
科目名	人文科学 I					担当者名		伊藤・瀬木
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16	世4 中世ヨーロッパ② 世5 中世ヨーロッパ③							
17	日5 古代5（平安時代） 日6 古代6（平安時代末期）							
18	世6 近世ヨーロッパ① 世7 近世ヨーロッパ②							
19	日7 中世1（鎌倉時代初期） 日8 中世2（鎌倉時代中期以降）							
20	世8 近世ヨーロッパ③ 世9 市民革命①							
21	日9 中世3（南北朝～室町初期） 日10 中世4（室町中期以降～）							
22	世10 市民革命② 世11 市民革命③							
23	日11 近世1（安土桃山時代） 復習演習							
24	世12 ナポレオン時代 世13 産業革命 世14 19C～20Cのヨーロッパ							
25	日本史過去問演習							
26	世15 19C～20Cのヨーロッパ 世16 帝国主義から世界大戦へ 世17 ロシア革命と戦後の国際社会							
27	世18 戦間期の欧米諸国 世19 第二次世界大戦							
28	世20 戦後と冷戦の始まり 世21 冷戦の拡大、各国の首脳							
29	日本史過去問演習							
30	前期末試験							

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅰ					担当者名	岩崎 郁人
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される社会科学（政治・経済・現代社会）について講義し，基礎知識を固め公務員試験に対応できるようにする。						
到達目標	公務員試験の簡単な問題に答えられるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	絶対合格シリーズ「社会科学」（テキスト編） （麻生教育サービス）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	政治 1 統治機構 三権分立	
2	政治 2 統治機構 国会(1)	
3	政治 2 統治機構 国会(2)	
4	政治 3 統治機構 内閣	
5	政治 4 統治機構 裁判所	
6	政治 5 日本国憲法の基本的性格(1)	
7	政治 5 日本国憲法の基本的性格(2)	
8	政治 6 地方自治(1)	
9	政治 6 地方自治(2)	
10	政治 7 選挙制度(1)	
11	政治 7 選挙制度(2)	
12	政治 8 民主主義の発展	
13	政治 9 各国の政治制度	
14	政治10 基本的人権の尊重 自由権(1)	
15	政治11 基本的人権の尊重 自由権(2)	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択	
科目名	社会科学 I					担当者名		岩崎 郁人	
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画	実施内容・所感
16	政治11 基本的人権の尊重 社会権	
17	政治12 基本的人権の尊重 その他	
18	政治13 国際政治と日本(1)	
19	政治13 国際政治と日本(2)	
20	経済 1 経済の仕組み 市場と価格	
21	経済 2 企業の仕組み	
22	経済 3 景気と物価	
23	経済 4 金融と日本銀行の金融政策	
24	経済 5 財政政策	
25	経済 6 為替レートと貿易	
26	経済 7 国際経済との関わり	
27	経済 8 国民所得と経済成長	
28	経済 9 現代日本経済の構造と課題	
29	経済10 経済学史	
30	前期末試験	

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	文章理解Ⅰ (A)					担当者名		富田 篤子
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態		講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数		2単位
授業内容	公務員試験科目「文章理解・国語」対策							
到達目標	公務員試験に合格できる力を身に付ける							
担当教員 実務経験	なし							
使用教材	公務員試験過去問題徹底分析“絶対”合格シリーズ 文章理解テキスト篇							

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス・要旨	
2	要旨	
3	要旨	
4	要旨	
5	文章整序	
6	空欄補充	
7	内容合致	
8	内容合致	
9	総合問題	
10	総合問題	
11	総合問題	
12	総合問題	
13	総合問題	
14	総合問題	
15	期末テスト	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	文章理解Ⅰ (B)					担当者名		富田 篤子
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態		講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数		2単位
授業内容	公務員試験科目「文章理解・国語」対策							
到達目標	公務員試験に合格できる力を身に付ける							
担当教員 実務経験	なし							
使用教材	公務員試験過去問題徹底分析“絶対”合格シリーズ 文章理解テキスト篇							

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス・要旨	
2	要旨	
3	要旨	
4	要旨	
5	文章整序	
6	空欄補充	
7	内容合致	
8	内容合致	
9	総合問題	
10	総合問題	
11	総合問題	
12	総合問題	
13	総合問題	
14	総合問題	
15	期末テスト	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期	必修・選択	選択(習熟度)
科目名	作文適性 I (A)			担当者名	富田 篤子
学科	公務員科	学年	1年	クラス	コース
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の論作文対策				
到達目標	公務員試験で合格できるような答案を作成する力を身に付ける				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	プリント				

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	授業ガイダンス・自己分析	
2	自己分析	
3	自己分析・原稿用紙の使い方	
4	作文タイトル①構成	
5	作文タイトル①清書	
6	作文タイトル②構成	
7	作文タイトル②清書	
8	作文タイトル③構成	
9	作文タイトル③清書	
10	職種研究	
11	職種研究	
12	作文タイトル④構成	
13	作文タイトル④清書	
14	時事問題	
15	期末テスト	

定期試験	筆記				
評価基準	学習過程評価 (平常点)	40 %	学習成果評価 (定期試験)	60 %	

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)	
科目名	作文適性Ⅰ (B)					担当者名		富田 篤子	
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース		
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態		講義	
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数		2単位	
授業内容	公務員試験の論作文対策								
到達目標	公務員試験で合格できるような答案を作成する力を身に付ける								
担当教員 実務経験	なし								
使用教材	プリント								

授業回数	授業計画	実施内容・所感
1	授業ガイダンス・自己分析	
2	自己分析	
3	自己分析・原稿用紙の使い方	
4	作文タイトル①構成	
5	作文タイトル①清書	
6	作文タイトル②構成	
7	作文タイトル②清書	
8	作文タイトル③構成	
9	作文タイトル③清書	
10	職種研究	
11	職種研究	
12	作文タイトル④構成	
13	作文タイトル④清書	
14	時事問題	
15	期末テスト	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価 (平常点)	40 %	学習成果評価 (定期試験) 60 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	資料解釈Ⅰ(A)					担当者名	山田 祐嗣
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。						
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。						
担当教員 実務経験	令和6年度：資料解釈ITA担当 令和7年度：資料解釈I講義担当 令和6～7年度：データ分析（公務員演習）講義担当						
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理（いづな書店）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	適性検査① ガイダンス Ⅲ－1 指数	
2	適性検査② Ⅲ－1 指数	
3	適性検査③ Ⅲ－2 増加率	
4	適性検査④ Ⅲ－2 増加率	
5	適性検査⑤ Ⅲ－3 割合	
6	適性検査⑥ Ⅲ－4 実数	
7	適性検査⑦ Ⅲのまとめ	
8	適性検査⑧ 資料解釈総合問題①	
9	適性検査⑨ 資料解釈総合問題②	
10	適性検査⑩ Ⅱ－4 角度	
11	適性検査⑪ Ⅱ－5 円の性質	
12	適性検査⑫ Ⅱ－6 図形の相似	
13	適性検査⑬ 資料解釈総合問題③	
14	適性検査⑭ 資料解釈総合問題④ 期末試験対策	
15	期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択
科目名	資料解釈Ⅰ(A)					担当者名		山田 祐嗣
学科	公務員科		学年	1年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	資料解釈Ⅰ(B)					担当者名	山田 祐嗣
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。						
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。						
担当教員 実務経験	令和6年度：資料解釈ITA担当 令和7年度：資料解釈I講義担当 令和6～7年度：データ分析（公務員演習）講義担当						
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理（いいずな書店）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	適性検査① ガイダンス Ⅲ－1 指数	
2	適性検査② Ⅲ－1 指数	
3	適性検査③ Ⅲ－2 増加率	
4	適性検査④ Ⅲ－2 増加率	
5	適性検査⑤ Ⅲ－3 割合	
6	適性検査⑥ Ⅲ－4 実数	
7	適性検査⑦ Ⅲのまとめ	
8	適性検査⑧ 資料解釈総合問題①	
9	適性検査⑨ 資料解釈総合問題②	
10	適性検査⑩ Ⅱ－4 角度	
11	適性検査⑪ Ⅱ－5 円の性質	
12	適性検査⑫ Ⅱ－6 図形の相似	
13	適性検査⑬ 資料解釈総合問題③	
14	適性検査⑭ 資料解釈総合問題④ 期末試験対策	
15	期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択
科目名	資料解釈 I (B)					担当者名		山田 祐嗣
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画	実施内容・所感
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	公務員演習Ⅰ					担当者名	森 登志男
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	演習
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	確認テストを通じて、公務員試験の演習を行う。						
到達目標	公務員試験の問題が解ける						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	確認テスト（学科で作成）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	公務員試験ガイダンス	
2	確認テスト・適性試験(1)	
3	確認テスト・適性試験(2)	
4	確認テスト・適性試験(3)	
5	確認テスト・適性試験(4)	
6	確認テスト・適性試験(5)	
7	確認テスト・適性試験(6)	
8	確認テスト・適性試験(7)	
9	確認テスト・適性試験(8)	
10	確認テスト・適性試験(9)	
11	確認テスト・適性試験(10)	
12	確認テスト・適性試験(11)	
13	確認テスト・適性試験(12)	
14	確認テスト・適性試験(13)	
15	定期試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択(習熟度)
科目名	ビジネス技能 I (A)					担当者名	菅 早織
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 675 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(45 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	ビジネスマナー基礎。就職面接対策として自己分析や感じの良い面接所作を学ぶ。						
到達目標	社会人としてのマナーとビジネスマインドを習得し就職試験に備える。						
担当教員 実務経験	日本航空地上職接遇インストラクターを担当。大学3校にて就職対策講座を担当。 病院 にて接遇教育を実施。企業にて新入社員ビジネスマナー研修を担当。 専門学校 にてビジネスマナー・キャリアガイダンス・就職対策を担当。						
使用教材	講師作成プリントおよびパワーポイント資料						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	マナーとは、社会人と学生の違い、法令遵守	
2	第一印象・笑顔・挨拶	
3	身だしなみ・立居振舞い	
4	採用面接入退室ロールプレイ	
5	言葉遣い・電話・メール・SNSのマナー	
6	効果的な話し方と聴き方	
7	自己分析	
8	自分らしい長所の発見	
9	マイナスすぎない短所の作り方	
10	キャッチコピーから考える自分の伝え方	
11	自己紹介と自己PR	
12	学生時代に頑張ったこと	
13	プレゼンテーションスキル①(グループワーク)	
14	プレゼンテーションスキル②(グループ発表)	
15	前期末試験(筆記)	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価(平常点)	40 %	学習成果評価(定期試験) 60 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択(習熟度)
科目名	ビジネス技能 I (B)					担当者名	菅 早織
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 675 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(45 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	ビジネスマナー基礎。就職面接対策として自己分析や感じの良い面接所作を学ぶ。						
到達目標	社会人としてのマナーとビジネスマインドを習得し就職試験に備える。						
担当教員 実務経験	日本航空地上職接客インストラクターを担当。大学3校にて就職対策講座を担当。 病院 にて接客教育を実施。企業にて新入社員ビジネスマナー研修を担当。 専門学校 にてビジネスマナー・キャリアガイダンス・就職対策を担当。						
使用教材	講師作成プリントおよびパワーポイント資料						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	マナーとは、社会人と学生の違い、法令遵守	
2	第一印象・笑顔・挨拶	
3	身だしなみ・立居振舞い	
4	採用面接入退室ロールプレイ	
5	言葉遣い・電話・メール・SNSのマナー	
6	効果的な話し方と聴き方	
7	自己分析	
8	自分らしい長所の発見	
9	マイナスすぎない短所の作り方	
10	キャッチコピーから考える自分の伝え方	
11	自己紹介と自己PR	
12	学生時代に頑張ったこと	
13	プレゼンテーションスキル①(グループワーク)	
14	プレゼンテーションスキル②(グループ発表)	
15	前期末試験(筆記)	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価(平常点)	40 %	学習成果評価(定期試験) 60 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	専門演習Ⅰ					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験の問題演習と解説を行う						
到達目標	解説を通し、公務員試験の解き方を理解する						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、 公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	なし						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	公務員試験・問題演習	
2	公務員試験・解説講義	
3	公務員試験・解説講義	
4	公務員試験・問題演習	
5	公務員試験・解説講義	
6	公務員試験・解説講義	
7	公務員試験・問題演習	
8	公務員試験・解説講義	
9	公務員試験・解説講義	
10	公務員試験・問題演習	
11	公務員試験・解説講義	
12	公務員試験・解説講義	
13	公務員試験・問題演習	
14	公務員試験・解説講義	
15	公務員試験・解説講義	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択
科目名	専門演習 I					担当者名		長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画	実施内容・所感
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択(習熟度)
科目名	自然科学演習Ⅰ (A)					担当者名	深井 淳二
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学(理科)の物理・地学分野について講義し、基礎知識を固め公務員試験に対応できるようにする。						
到達目標	公務員試験の簡単な問題に答えられるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	高卒程度公務員試験対策 自然科学 テキスト&問題集(ウィネット)						

授業回数	授業計画			実施内容・所感
1	地学	1	地球の構成物質(1)	
2	地学	2	地球の内部構造と地震	
3	地学	3	地球の歴史	
4	地学	4	地球・太陽・月	
5	地学	5	太陽系・恒星	
6	地学	6	大気と海洋	
7	地学	7	天気	
8	物理	1	力の性質(1)	
9	物理	1	力の性質(2)	
10	物理	2	物体の運動	
11	物理	3	運動量・エネルギー	
12	物理	3 4	運動量・エネルギー 熱とエネルギー	
13	物理	5	波動	
14	物理	6	電気回路と磁気	
15	前期末試験			

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価(平常点)	20 %	学習成果評価(定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	自然科学演習Ⅰ (A)					担当者名		深井 淳二
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画			実施内容・所感
16	化学	1	物質の構成・化学結合(2)	
17	化学	2	周期表(1)	
18	化学	2	周期表(2)	
19	化学	3	物質の状態	
20	化学	4	化学反応(1)	
21	化学	4	化学反応(2)	
22	化学	5	酸・塩基(1)	
23	化学	5	酸・塩基(2)	
24	化学	6	酸化・還元(1)	
25	化学	6	酸化・還元(2)	
26	化学	7	金属の性質	
27	化学	8	気体の製法と性質(1)	
28	化学	8	気体の製法と性質(2)	
29	化学	化学のまとめ		
30	前期末試験			

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択(習熟度)
科目名	自然科学演習Ⅰ (B)					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学(理科)の物理・地学分野について講義し、基礎知識を固め公務員試験に対応できるようにする。						
到達目標	公務員試験の簡単な問題に答えられるようになる。						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	高卒程度公務員試験対策 自然科学 テキスト&問題集(ウィネット)						

授業 回数	授業計画		実施内容・所感
1	地学	1 地球の構成物質(1)	
2	地学	2 地球の内部構造と地震	
3	地学	3 地球の歴史	
4	地学	4 地球・太陽・月	
5	地学	5 太陽系・恒星	
6	地学	6 大気と海洋	
7	地学	7 天気	
8	物理	1 力の性質(1)	
9	物理	1 力の性質(2)	
10	物理	2 物体の運動	
11	物理	3 運動量・エネルギー	
12	物理	3 運動量・エネルギー 4 熱とエネルギー	
13	物理	5 波動	
14	物理	6 電気回路と磁気	
15	前期末試験		

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価(平常点)	20 %	学習成果評価(定期試験) 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択(習熟度)
科目名	自然科学演習 I (B)					担当者名		長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース		

授業回数	授業計画			実施内容・所感
16	化学	1	物質の構成・化学結合(2)	
17	化学	2	周期表(1)	
18	化学	2	周期表(2)	
19	化学	3	物質の状態	
20	化学	4	化学反応(1)	
21	化学	4	化学反応(2)	
22	化学	5	酸・塩基(1)	
23	化学	5	酸・塩基(2)	
24	化学	6	酸化・還元(1)	
25	化学	6	酸化・還元(2)	
26	化学	7	金属の性質	
27	化学	8	気体の製法と性質(1)	
28	化学	8	気体の製法と性質(2)	
29	化学	化学のまとめ		
30	前期末試験			

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	人文科学演習Ⅰ					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	1年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される人文科学（地理）の内容を1から講義し、その知識を習得する。						
到達目標	公務員試験（地理）の簡単な問題が解けるようになる						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、 公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	絶対合格シリーズ「人文科学」（麻生教育サービス）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス 1 気候(1)	
2	1 気候(1) 2 気候(2)・土壌	
3	3 風・日本の気候 4 地形(1)	
4	5 地形(2) 6 地形(3)	
5	7 地図 8 世界の農牧業(1)	
6	9 世界の農牧業(2) 10 生産量・輸出量・発電	
7	11 東アジア(1) 12 東アジア(2)	
8	13 東南アジア(1) 14 東南アジア(2)	
9	15 南アジア 16 西アジア	
10	17 アフリカ 18 ヨーロッパ(1)	
11	19 ヨーロッパ(2) 20 ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	21 北アメリカ 22 南アメリカ	
13	23 オセアニア 24 人口 25 漁業・産業	
14	まとめの授業	
15	前期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	通年			必修・選択	必修
科目名	職業指導Ⅱ					担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 30 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験、就職対策についての全般的な指導						
到達目標	社会人としてのビジネスマナーや面接マナーを身に着け、公務員試験、就職試験に合格できるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	なし						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	公務員試験受験指導、適性検査	
2	公務員試験受験指導、適性検査	
3	公務員試験受験指導、適性検査	
4	公務員試験受験指導、適性検査	
5	公務員試験受験指導、適性検査	
6	公務員試験受験指導、適性検査	
7	公務員試験受験指導、適性検査	
8	公務員試験受験指導、適性検査	
9	公務員試験受験指導、適性検査	
10	公務員試験受験指導、適性検査	
11	公務員試験受験指導、適性検査	
12	公務員試験受験指導、適性検査	
13	公務員試験受験指導、適性検査	
14	公務員試験受験指導、適性検査	
15	公務員試験受験指導、適性検査	
定期試験	筆記	
評価基準	学習過程評価（平常点） 40 %	学習成果評価（定期試験） 60 %

開講年度	令和 8 年度	学期	通年			必修・選択		必修
科目名	職業指導Ⅱ					担当者名		瀬木 翼
学科	公務員科		学年	2年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16	公務員試験受験指導、適性検査							
17	公務員試験受験指導、適性検査							
18	公務員試験受験指導、適性検査							
19	公務員試験受験指導、適性検査							
20	公務員試験受験指導、適性検査							
21	公務員試験受験指導、適性検査							
22	公務員試験受験指導、適性検査							
23	公務員試験受験指導、適性検査							
24	公務員試験受験指導、適性検査							
25	公務員試験受験指導、適性検査							
26	公務員試験受験指導、適性検査							
27	公務員試験受験指導、適性検査							
28	公務員試験受験指導、適性検査							
29	公務員試験受験指導、適性検査							
30	公務員試験受験指導、適性検査							

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	判断推理Ⅲ					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験の判断推理の問題演習を通し，実践力を身につける						
到達目標	実力をつけ，本年度の公務員試験に合格できる力をつける						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、 公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	プリント（学科にて作成）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	展開図・サイコロ	
2	展開図・サイコロ	
3	展開図・サイコロ	
4	判断推理・問題演習(1)と解説	
5	判断推理・問題演習(2)と解説	
6	判断推理・問題演習(3)と解説	
7	判断推理・問題演習(4)と解説	
8	判断推理・問題演習(5)と解説	
9	判断推理・問題演習(6)と解説	
10	判断推理・問題演習(7)と解説	
11	判断推理・問題演習(8)と解説	
12	判断推理・問題演習(9)と解説	
13	判断推理・問題演習(10)と解説	
14	判断推理・問題演習(11)と解説	
15	判断推理・問題演習(12)と解説	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択
科目名	判断推理Ⅲ					担当者名		長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース		

授業回数	授業計画	実施内容・所感
16	判断推理・問題演習(12)と解説	
17	判断推理・問題演習(13)と解説	
18	判断推理・問題演習(14)と解説	
19	判断推理・問題演習(15)と解説	
20	判断推理・問題演習(16)と解説	
21	判断推理・問題演習(17)と解説	
22	判断推理・問題演習(18)と解説	
23	判断推理・問題演習(19)と解説	
24	判断推理・問題演習(20)と解説	
25	判断推理・問題演習(21)と解説	
26	判断推理・問題演習(22)と解説	
27	判断推理・問題演習(23)と解説	
28	判断推理・問題演習(24)と解説	
29	判断推理・問題演習(25)と解説	
30	定期試験	

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	数的推理Ⅲ					担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験の「数的推理」分野の演習と講義を行う。1年次から継続・発展的な内容を取り扱う。						
到達目標	「数的推理」における実践的な知識を養い、高度な問題も解けるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	数的処理（数的推理）・資料解釈テキスト&問題集 （ウイネット）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	1章 数と式の基本	
2	1章 数と式の基本	
3	2章 約数・倍数、記数法	
4	3章 方程式の応用	
5	3章 方程式の応用	
6	4章 連立方程式	
7	4章 連立方程式	
8	5章 不等式	
9	6章 時間・距離・速さ（1）	
10	6章 時間・距離・速さ（1）	
11	7章 時間・距離・速さ（2）	
12	8章 割合・比	
13	9章 濃度	
14	10章 仕事算	
15	11章 数列・規則	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択
科目名	数的推理Ⅲ					担当者名		瀬木 翼
学科	公務員科		学年	2年	クラス		コース	
授業回数	授業計画					実施内容・所感		
16	1 2 章 魔法陣・覆面算							
17	1 3 章 その他数量問題							
18	1 4 章 三角形と多角形							
19	1 5 章 円							
20	1 6 章 面積・角度							
21	1 7 章 立体図形							
22	1 8 章 場合の数							
23	1 9 章 順列・組合せ							
24	2 0 章 確率（１）							
25	2 0 章 確率（１）							
26	2 1 章 確率（２）							
27	総合演習 1							
28	総合演習 2							
29	総合演習 3							
30	期末試験							

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	自然科学Ⅲ					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験の国家公務員向け問題の過去問演習を行う						
到達目標	実力をつけ、本年度の公務員試験に合格できる力をつける						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、 公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	プリント（学科にて作成）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	90分・国家公務員向け演習(1)	
2	その解説・講義	
3	90分・国家公務員向け演習(2)	
4	その解説・講義	
5	90分・国家公務員向け演習(3)	
6	その解説・講義	
7	90分・国家公務員向け演習(4)	
8	その解説・講義	
9	90分・国家公務員向け演習(5)	
10	その解説・講義	
11	90分・国家公務員向け演習(6)	
12	その解説・講義	
13	90分・国家公務員向け演習(7)	
14	その解説・講義	
15	90分・国家公務員向け演習(8)	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択		選択
科目名	自然科学Ⅲ					担当者名		長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース		

授業回数	授業計画	実施内容・所感
16	その解説・講義	
17	90分・国家公務員向け演習(9)	
18	その解説・講義	
19	90分・国家公務員向け演習(10)	
20	その解説・講義	
21	90分・国家公務員向け演習(11)	
22	その解説・講義	
23	90分・国家公務員向け演習(12)	
24	その解説・講義	
25	90分・国家公務員向け演習(13)	
26	その解説・講義	
27	90分・国家公務員向け演習(14)	
28	その解説・講義	
29	まとめの授業	
30	定期試験	

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	人文科学Ⅲ					担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験の「人文科学」分野を問題集を使いながら演習・解説することにより、人文科学の解ける力を養う。						
到達目標	「人文科学」の問題が解けるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 問題集編・問題集解説編（麻生キャリアサポート） Glexa（e-ラーニングシステム）						

授業回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス 日本史（近世）	
2	地理（気候・土壌）	
3	世界史（中国史）	
4	日本史（近世）	
5	地理（地形）	
6	世界史（中国史）	
7	日本史（近代）	
8	地理（地図・時差）	
9	世界史（中国史）	
10	日本史（近代）	
11	地理（植生・農業）	
12	世界史（中国史）	
13	日本史（現代）	
14	地理（産業・貿易・発電）	
15	世界史（宗教改革と近世ヨーロッパ）	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	人文科学Ⅲ					担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業回数	授業計画				実施内容・所感		
16	日本史（文化史）						
17	地理（日本）						
18	世界史（市民革命）						
19	日本史（中世）						
20	地理（アジア・アフリカ）						
21	世界史（産業革命と帝国主義）						
22	日本史（分野横断問題）						
23	地理（ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア）						
24	世界史（二つの世界大戦）						
25	世界史（第二次世界大戦後・冷戦）						
26	地理（人口・漁業）						
27	世界史（古代・中世）						
28	世界史（イスラム世界）						
29	総合問題演習						
30	期末テスト						

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅲ					担当者名	加藤佳明
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)					単位数	4単位
授業内容	公務員試験 社会科学対策						
到達目標	公務員試験合格						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	絶対合格シリーズ 社会科学 問題集						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	国会	
2	国会	
3	内閣	
4	内閣	
5	裁判所	
6	裁判所	
7	地方自治	
8	地方自治	
9	選挙制度	
10	選挙制度	
11	民主主義・政治制度	
12	民主主義・政治制度	
13	国際政治	
14	市場・価格	
15	企業	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	0 %	学習成果評価（定期試験） 100 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期				必修・選択	選択
科目名	社会科学Ⅲ				担当者名		加藤佳明	
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース		

授業回数	授業計画	実施内容・所感
16	景気・物価	
17	金融	
18	金融	
19	財政	
20	財政	
21	為替・貿易	
22	国際経済	
23	経済指標	
24	日本経済史	
25	経済学史・経済用語	
26	労働事情	
27	社会保障	
28	過去問演習	
29	過去問演習	
30	前期末試験	

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	文章理解Ⅲ					担当者名	富田 篤子
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験科目「文章理解・国語」対策						
到達目標	公務員試験に合格できる力を身に付ける						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	高卒程度公務員試験対策 国語・英語・文章理解テキスト&問題集						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	ガイダンス・要旨	
2	要旨	
3	要旨	
4	文章整序	
5	空欄補充	
6	内容合致	
7	内容合致	
8	総合問題	
9	総合問題	
10	総合問題	
11	総合問題	
12	総合問題	
13	総合問題	
14	総合問題	
15	期末テスト	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	作文適性Ⅲ					担当者名	富田 篤子
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験の論作文対策						
到達目標	公務員試験で合格できるような答案を作成する力を身に付ける						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	プリント						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	授業ガイダンス・自己分析	
2	作文タイトル①	
3	作文タイトル①振り返り・見直し	
4	作文タイトル②	
5	職種研究	
6	職種研究	
7	時事問題①	
8	作文タイトル③構成	
9	作文タイトル③清書	
10	作文タイトル④構成	
11	作文タイトル④清書	
12	時事問題②	
13	作文タイトル⑤構成	
14	作文タイトル⑤清書	
15	期末テスト	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	40 %	学習成果評価（定期試験） 60 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	資料解釈Ⅲ					担当者名	瀬木 翼
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野の演習と講義を行う。1年次から継続・発展的な内容を取り扱う。						
到達目標	「資料解釈」における実践的な知識を養い、高度な問題も解けるようになる。						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	数的処理（数的推理）・資料解釈テキスト&問題集 （ウイネット）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	適性検査 序章 資料解釈の基本	
2	適性検査 1章 実数と構成比	
3	適性検査 1章 実数と構成比	
4	適性検査 2章 指数と構成比	
5	適性検査 2章 指数と構成比	
6	適性検査 2章 指数と構成比	
7	適性検査 3章 増減率	
8	適性検査 3章 増減率	
9	適性検査 4章 特殊な数表・図表	
10	適性検査 総合演習問題	
11	適性検査 総合演習問題	
12	適性検査 総合演習問題	
13	適性検査 総合演習問題	
14	適性検査 総合演習問題	
15	期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	公務員演習Ⅲ					担当者名	増田 良子
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	演習
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	確認テストを通じて、公務員試験の演習を行う。						
到達目標	公務員試験の問題が解ける						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	確認テスト（学科で作成）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	公務員試験ガイダンス	
2	確認テスト・適性試験(1)	
3	確認テスト・適性試験(2)	
4	確認テスト・適性試験(3)	
5	確認テスト・適性試験(4)	
6	確認テスト・適性試験(5)	
7	確認テスト・適性試験(6)	
8	確認テスト・適性試験(7)	
9	確認テスト・適性試験(8)	
10	確認テスト・適性試験(9)	
11	確認テスト・適性試験(10)	
12	確認テスト・適性試験(11)	
13	確認テスト・適性試験(12)	
14	確認テスト・適性試験(13)	
15	定期試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能Ⅲ					担当者名	菅 早織
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 675 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(45 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	ビジネスマナー基礎の復習。実践ビジネスマナーの習得。就職面接対策。						
到達目標	社会人としてのマナーとビジネスマインドを習得し就職試験に備える						
担当教員 実務経験	日本航空地上職接客インストラクターを担当。大学3校にて就職対策講座を担当。 にて接客教育を実施。企業にて新入社員ビジネスマナー研修を担当。 にてビジネスマナー・キャリアガイダンス・就職対策を担当。						病院 専門学校
使用教材	講師作成プリントおよびパワーポイント資料						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	マナーとは、社会人と学生の違い、法令遵守	
2	第一印象・笑顔・挨拶	
3	身だしなみ・立居振舞い	
4	採用面接入退室ロールプレイ	
5	言葉遣い・電話・メール・SNSのマナー	
6	効果的な話し方と聴き方	
7	面接試験ロールプレイ（自己PR・長所と短所）	
8	ロールプレイ（学生時代に頑張ったこと・志望動機）	
9	接客対応マナー①（名刺交換・来客対応・席次）	
10	接客対応マナー②（電話対応）	
11	接客対応マナー③（ユニバーサルマナー）	
12	コミュニケーションスキル習得ワーク	
13	プレゼンテーションスキル①（グループワーク）	
14	プレゼンテーションスキル②（グループ発表）	
15	前期末試験（筆記）	

定期試験	筆記				
評価基準	学習過程評価（平常点）	40 %	学習成果評価（定期試験）	60 %	

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	自然科学演習Ⅲ					担当者名	深井 淳二
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験の自然科学（理科）分野の過去問演習を行う						
到達目標	実力をつけ、本年度の公務員試験に合格できる力をつける						
担当教員 実務経験	なし						
使用教材	プリント（学科にて作成）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	地学の問題演習(1)	
2	地学の問題演習(2)	
3	地学の問題演習(3)	
4	地学の問題演習(4)	
5	化学の問題演習(1)	
6	化学の問題演習(2)	
7	化学の問題演習(3)	
8	化学の問題演習(4)	
9	化学の問題演習(5)	
10	化学の問題演習(6)	
11	物理の問題演習(1)	
12	物理の問題演習(2)	
13	物理の問題演習(3)	
14	物理の問題演習(4)	
15	定期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %

開講年度	令和 8 年度	学期	前期			必修・選択	選択
科目名	人文科学演習Ⅲ					担当者名	長谷川 靖洋
学科	公務員科	学年	2年	クラス		コース	
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回					授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)					単位数	2単位
授業内容	公務員試験の地方初級向け問題の過去問演習を行う						
到達目標	実力をつけ、本年度の公務員試験に合格できる力をつける						
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、 公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。						
使用教材	プリント（学科にて作成）						

授業 回数	授業計画	実施内容・所感
1	地方対策過去問(1)	
2	地方対策過去問(2)	
3	地方対策過去問(3)	
4	地方対策過去問(4)	
5	地方対策過去問(5)	
6	地方対策過去問(6)	
7	地方対策過去問(7)	
8	地方対策過去問(8)	
9	地方対策過去問(9)	
10	地方対策過去問(10)	
11	地方対策過去問(11)	
12	地方対策過去問(12)	
13	地方対策過去問(13)	
14	地方対策過去問(14)	
15	定期末試験	

定期試験	筆記		
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験） 80 %